



脳梗塞急性期に役に立つ バイオマーカー



木村 和美 先生
日本医科大学 神経・脳血管内科 教授



坂本 悠記 先生
日本医科大学 神経・脳血管内科



日時

2015年**10月21日**(水)
12:15~13:15

会場

**東京国際フォーラム ガラス棟
5F G502【第11会場】**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5-1

本セミナーは整理券制です。

●整理券配布について

【配布場所】東京国際フォーラム ロビーギャラリー

【配布時間】10月21日(水) 8:00~11:45

※セミナー開始時間 10分を過ぎましたら無効となります。

【共催】

第43回日本救急医学会総会・学術集会／塩野義製薬株式会社／東ソー株式会社／株式会社LSIメディエンス／アボット ジャパン株式会社／シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社／積水メディカル株式会社／富士レビオ株式会社

脳梗塞急性期に役に立つ バイオマーカー

木村 和美 先生 日本医科大学 神経・脳血管内科 教授
坂本 悠記 先生 日本医科大学 神経・脳血管内科

脳卒中診療の質を向上させるためには脳卒中発症の急性期、回復期、および維持期における医療が円滑に行われなければならない。急性期医療の専門集団である本学会が真摯に取り組むべきは脳卒中患者の救急初療室での対応や診療である。特に脳梗塞のなかで深刻な後遺症を招く心原性脳塞栓症の診断と初期対応は重要であり、我々はこの急性期の診断に有用な検査について研究を進めてきた。フロアでのご討議をいただきたい。